

馬場クラス短答マラソンスケジュール

日付	Lゼミ	短答ゼミ	年度別過去問	短答ハイライト	LEC過去問集ページ（下三法）			
					条約1	条約2	著作権法	不競法
3月14日	意匠5	特許出願、特許権	R07	1回目	P. 3-P. 42(20)	P. 43-P. 84(21)	P. 213-P. 258(20)	P. 327-P. 364(15)
3月21日	商標5	意匠法・商標法の登録要件	R06		P. 129-P. 206	P. 85-P. 128(22)	P. 259-P. 280(10)	P. 365-P. 414(20)
3月28日	意匠5	実案・意匠・商標の特有規定	R05, R04	2回目	P. 3-P. 42(20)	P. 43-P. 84(21)	P. 281-P. 324(20)	P. 415-P. 446(15)
4月4日	特実9	著作権法・不競法	R03, R02		P. 129-P. 206	P. 85-P. 128(22)	P. 213-P. 258(20)	P. 327-P. 364(15)
4月11日	意匠6	—	R01, H30	3回目	P. 3-P. 42(20)	P. 43-P. 84(21)	P. 259-P. 280(10)	P. 365-P. 414(20)
4月18日	商標6	審判に関する規定	R07, R06, R05		P. 129-P. 206	P. 85-P. 128(22)	P. 281-P. 324(20)	P. 415-P. 446(15)
4月25日	特実10	条約に関する規定	R04, R03, R02	4回目	P. 3-P. 42(20)	P. 43-P. 84(21)	P. 213-P. 258(20)	P. 327-P. 364(15)
5月2日	意匠7	その他の規定	R01, H30, R07		P. 129-P. 206	P. 85-P. 128(22)	P. 259-P. 280(10)	P. 365-P. 414(20)
5月9日	商標7	総合回	R06, R05, R04	最終チェック	P. 3-P. 42(20)	P. 43-P. 84(21)	P. 281-P. 324(20)	P. 415-P. 446(15)
5月16日	短答試験前日							
5月17日	短答試験本番							

1. 問題を解くのは四法は10問/1時間、下三法は20問/1時間を目安に「演習」→「解説」まで終わらせること
2. 標準的には30分～40分で問題を解く→解説で間違えたところ、自信がなかったところの確認を進める
3. 解説を一読し、直ぐに解らないのは付箋（第1色）をはる。1周目は「理解できない問題」をあぶり出すのが目的
間違えた問題にも付箋（第2色）を貼る。自身がなかったものでも貼っておく。
4. LECの問題集の青字部分だけで理解できるかを確認する
5. 四法の過去問集を使用する場合は、前のページから（総則は後でもOK）から1問飛ばしでとき、最後まで行ったら戻る
6. 年度別の指示は、年度別問題集（又は過去問集で当該年度だけをピックアップして）解く
7. 著不20問は前から順に解く。1問飛ばしで解いてもOK
8. 上記過去問の学習後、間違えた問題のブラッシュアップを行う
付箋（第2色）が貼られている条文の「これ問」を確認する。
関連する問題（特にこれポン）をざっと確認をする。
9. 問題を解いたときは「2つのなぜ」を重視すること。特に「間違えた理由」を徹底的に潰す。
10. [スマート/秋入門]短答ポイント攻略講座を空いている時間を使って繰り返し視聴すること
11. [スマート/秋入門]Trips協定(条約1)については範囲に含まれているが解かなくてもよい（ただし過去問の範囲は軽み見るのは推奨）
12. [スマート/秋入門]PCT、著不についてはテキストをできれば読む時間を入れる
13. [短答ゼミ]短答ゼミ受講の場合は、併せて次回の短答ゼミの範囲のこれ問の確認をする（細かい学習範囲はゼミで指定）
14. [短答ゼミ]短答ハイライトは1週又は2週で「問題の理由」（これポン）を思い出せるようにすること